



こんにちは、 岡田よしひでです

2020年3月29日 発行
県議会活動報告ニュース
NO.32

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

予算修正案を提出

日本共産党は令和2年度高知県一般会計予算に対する修正案を提出し3月23日、会派を代表して米田稔議員が提案理由の説明を行いました。

修正内容は、交通運輸政策費のうち高知龍馬空港施設設計委託料1億4376万3千円、また小中学校費のうち県版及び全国版学力テストに関する歳出予算3633万2千円と、高等学校費のうち基礎学力把握検査等委託料5033万9千円の、減額修正です。

高知龍馬空港に新たに国際線ターミナルを建設する計画は、一昨年から6回開催された「高知龍馬空港航空ネットワーク成長戦略検討会議」の場で提案されたものです。昨年9月の中間とりまとめでは、年間100万回復便を目標に、総額42億円の施設建設が提案さ



コロナ感染予防で全員がマスク着用

れましたが、今日の海外情勢等も勘案し、今年1月22日の中間とりまとめで、当面、規模を縮小した計画で進めることになりました。

私たちも、今後本県でのインバウンド観光を促進するうえで、しっかりとした検疫や逃走防止機能を持つこと、また空港の混雑解消、国際線利用は一旦県外の空港まで行かなければならない費用負担が生じていることも認識しています。そのうえで、今議会への基本設計、実施設計予算の提案は拙速であると考え、削除を求めました。

国際線は課題多い

理由の第一は、費用対効果として示されている内容に不透明さが多い点です。建設費29億円のうち国からの補助金がいくらかが不明確です。また、年間50万回復のチャーター便を確保しても、年間4千9百万円の運営赤字が生じる試算ですが、その中には、電気、空調や保安機器の設備更新費用は含まれていません。示された資料で試算し直すと、建設後10年間は、年間1億5千3百万円もの運営経費を県が負担することになります。

県は、年間50万回復で4億1千3百万円の経済波及効果が見込まれると説明しますが、その試算もチャーター便の乗客が全員高知県内で2泊する想定であり、きわめて不確実なものです。

理由の第二は、建設後の国際線ターミナルの運営形態が明確になっていない点です。県民は、現在の高知龍馬空港ビル株式会社が運営を担うと考えて

いるのではないのでしょうか。しかし、国際線ターミナルビルの運営は赤字が見込まれており、株式会社赤字事業を展開することはできません。県施設として、国際線ターミナルビルの運営をどうしていくのか、また空港ビル株式会社との関係をどう整理するかも現時点では明らかになっていません。

これらの課題と解決策を県民にしっかりと説明のできる段階で、改めて予算計上すべきです。

教育予算の修正は、点数競争でなく、基礎学力の定着、学ぶ喜び、わかる喜びを保障できる教育こそ求められており、現場教員を増やし、多忙化を解消することが求められているからです。

この予算修正案は、賛成少数で否決されました。続いて本予算の採決が行われ、福祉や他の事業等もあり共産党は賛成し、全会一致で令和2年度一般会計予算が成立しました。

おむすび通信 (32)

県議会2月定例会は23日、令和2年度予算を可決し、議長・副議長選挙を行い、閉会。新型コロナウイルス感染症予防のため全日程、議員、執行部とも全員がマスクを着用。健康被害だけでなく、経済的なダメージも深刻です。議会は新型コロナ対策の特別委員会を設置します。共産党から私が委員に入ります。